

「防衛講演会（宮崎県）」成果報告

- 1 日時 平成30年12月9日（日）0900～1015
- 2 場所 新富町文化会館（宮崎県児湯郡新富町）
- 3 主催 （公社）自衛隊家族会
宮崎県自衛隊家族会（担当）
- 4 後援 防衛省、宮崎県防衛協会、宮崎県隊友会、
宮崎県自衛官募集相談員会
- 5 講師 佐藤 正久 氏

略 歴

出身 福島県

防衛大学校卒業（第27期）

陸上自衛隊幹部学校指揮幕僚課程修了

3等陸佐、第5普通科連隊中隊長

アメリカ陸軍指揮幕僚大学留学

陸上幕僚監部教育訓練部訓練課訓練班長

第1次イラク復興業務支援隊長

第7普通科連隊長

参議院議員通常選挙で自由民主党から初当選 自由民主党国防部長就任

防衛大臣政務官 参議院外交防衛委員長 外務副大臣

現 外務副大臣

- 6 演題 「我が国の最新国防事情」

7 講演の概要

(1) 主催者挨拶

講演に先立ち、伊藤康成自衛隊家族会会長が、主催者を代表して挨拶を行い、家族会の主要事業である防衛講演会の主旨等を述べるとともに、開催の準備にあたった宮崎県自衛隊家族会や協力支援を頂いた自衛隊宮崎地方協力本部にお礼を述べ、併せて、参加者に対し防衛への一層の理解と家族会への協力を要望した。

(2) 佐藤氏による講演内容

ア 大 要

日本が置かれている安全保障環境、自衛隊勤務時代の所見及び国会議員として自衛隊各部隊を視察された時の現地の声等を分かりやすく解説

され、聴講者の深い理解と共感が得られた。

イ 要 旨

- (ア) 選挙制度（比例区）の仕組みについて
 - (イ) 周辺諸国の情勢
 - ・ 北朝鮮 : ミサイル技術の脅威
 - ・ 中国 : 第2列島線への進出
新田原基地の重要性拡大
 - (ウ) 日本の防衛：防衛大綱・中期防衛力整備の重要性
 - (エ) 有事案連法の必要性（具体例）
 - ・ インド洋給油支援中断時の国際世論（非協力批判）
米海軍による日本国籍タンカーの防護に当たりその際3名殉職した事との対比
 - ・ 佐藤副大臣自身のイラク派遣時の体験談
防衛省正門からの出発不可、民間機搭乗時制服着用不可
家族を含め一体感を確信した成田空港での記念撮影
 - (オ) 自衛隊の募集の重要性（現場を視察して）
 - ・ 募集目標数未達成の要因分析
 - ・ 多範な部隊展開
ソマリア海賊対処部隊、北朝鮮ミサイル警戒、離島監視
災害派遣、救難
 - ・ 低充足での厳しい艦艇運用
- ☆ 国会議員としてOBとして問題解決に努力する事を約束